

No.197

さい議会だより



消防分署からアルサスまで元気に歩きました「春の火災予防運動防火パレード」(4月11日)

3月定例会の主な内容

- ☆ 令和4年度の各会計予算 ・・・・・・・・・・・・ 2ページ
- ☆ 一般質問の内容 ・・・・・・・・・・・・ 6~7ページ
- ☆ 委員会の活動・委員長報告 ・・・・・・・・ 8~9ページ
- ☆ シリーズ「昭和・平成・令和をつなぐ」 ・・・・ 12ページ

令和4年第1回定例会は、3月7日から10日までの4日間の会期で行われました。

村長から、報告1件、承認3件、補正予算案5件、当初予算案6件、条例案4件、同意1件、その他6件、計26件。議員から条例案1件、決議案1件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。

令和4年度の村の予算

総額35億4535万7千円を可決

区分	令和4年度予算	令和3年度予算	前年度との増減額
一般会計	25億9630万0千円	24億6100万0千円	1億3530万0千円
特別会計	簡易水道事業 1億268万7千円	7963万0千円	2305万7千円
	下水道事業 1億5468万1千円	1億8065万2千円	△2597万1千円
	国民健康保険 3億6450万8千円	3億7461万7千円	△1010万9千円
	介護保険 2億9897万5千円	3億4008万4千円	△4110万9千円
	後期高齢者医療 2820万6千円	3001万5千円	△180万9千円
合計	35億4535万7千円	34億6599万8千円	7935万9千円

議員提出議案

○佐井村議会委員会条例の一部を改正する条例

これまでの常任委員会の活動は、2つの常任委員会を合わせた連合審査会の活動が主であるため、議員の共通認識を考え、現在の総務文教常任委員会並びに産業建設常任委員会を1つにし、3月10日から「総務産業常任委員会」に改める。

審議した主な議案

○佐井村公の施設に係る指定管理者の指定について

令和4年3月31日をもって指定期間が満了する5施設の指定管理者を指定。

原田地区生活改善センター

原田地区会 総代 木部久夫 (令和4年4月1日～令和7年3月31日、3年間)

矢越地区生活改善センター

矢越地区会 会長 七戸宗徳 (令和4年4月1日～令和7年3月31日、3年間)

津軽海峡文化館アルサス

佐井定期観光株式会社 専務取締役 内田豊実
(令和4年4月1日～令和9年3月31日、5年間)

佐井村願掛公園野営場

佐井定期観光株式会社 専務取締役 内田豊実
(令和4年4月1日～令和9年3月31日、5年間)

佐井村フォーレストパーク（森林体験館・森林公园）

株式会社サンアメニティ 代表取締役 吉澤幸夫
(令和4年4月1日～令和9年3月31日、5年間)

令和4年度 一般会計予算

長期総合計画実現に向けた取り組みを重視

【令和4年度の主な新規事業】

○磯谷地区漁民研修センター屋根補修事業 ···· 47万円

雨漏り等がひどい研修センター屋根補修工事のための設計業務を行なう。



潮風が当たる漁民研修センター

○役場前玄関スロープ設置事業 ····· 648万円

役場前玄関にスロープを設置する。

○避難所看板製作・設置事業 ····· 554万円

各避難所看板の老朽化が著しいことから、新たに看板を設置する。

○原田小学校線消火栓新設事業 ····· 1214万円

道路改良工事に合わせ、ゆうなぎの里前に新たに消火栓を設置する。

○小型動力ポンプ付積載車整備事業 ····· 3716万円 (地方債 3110万円)

耐用年数が大幅に経過している、第3分団・第4分団の小型動力ポンプ付積載車を新たに更新する。

○ゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップ作成事業 ··· 796万円

(国庫支出金 577万円)

ゼロカーボンシティ実現に向けた取組等を示したロードマップを作成する。

○スイミングハウス外柵改修事業 ··· 903万円

老朽化が著しいスイミングハウスの外柵を改修する。



腐食が進むスイミングハウスの木柵

○治山事業 ··· 330万円 (国庫支出金 165万円)

大佐井地区の小規模治山施設の改修工事を行なう。

○牛滝小中学校再開事業 ····· 8526万円

(国庫支出金 2688万円)

(地方債 5590万円)

牛滝小中学校再開（令和5年度予定）に要する経費。
学校改修工事基本調査設計業務および教員住宅4棟の改修工事を行なう。

令和3年度補正予算の概要（3月分）

会計	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計	26億5406万0千円	1238万1千円	26億6644万1千円
○除排雪業務委託料の増額 275万8千円			
○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（補正予算分）の増額			
特別会計	7904万7千円	361万1千円	8265万8千円
	○消費税の確定による増額 361万1千円		
	1億8968万1千円	53万3千円	1億9021万4千円
	○下水道施設長寿命化事業工事確定による増額 53万3千円		
国民健康保険	3億8163万6千円	0千円	3億8163万6千円
	○国民健康保険税の見込み増に伴う増額及び一般会計繰入金の減額による財源調整。		
介護保険	3億7671万1千円	△3448万1千円	3億4223万0千円
	○居宅介護サービス給付費負担金の減額 △1501万2千円など		

陳情書の審査結果

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

【陳情者】

青森県労働組合総連合 議長 奥村 榮

【陳情の趣旨】

コロナ禍を克服し経済を回復するために国民の消費購買力を高める必要があり、所得の向上が必要である。最低賃金は、青森県が822円で最低となっており、最低賃金の地域間格差をなくし中小企業支援策の拡充を実現するため、国に対して意見書の提出を求める。

【結果】 **資料配布**



中村昭彦さん
(古佐井)

固定資産評価審査委員会委員

中村昭彦氏の選任に同意

佐井村固定資産評価審査委員会委員 沢田昌平氏の任期が令和4年3月23日となることから、後任として中村昭彦氏を選任することに、全会一致で同意しました。

代務診療が続く佐井歯科診療所

今後の診療体制は



歯科診療所は予防から治療まで村民の多くが利用している

川畠委員

現在、佐井歯科診療所の川島先生が病気療養中であることから、弘前大学附属病院による代務診療が行なわれているが、今後の診療体制は。

村民に迷惑を掛けない体制を取る

村長

川島先生については、現在自宅療養中である。弘前大学附属病院口腔外科の小林教授と協議し、

4月中は引き続き代務診療に協力いただけることとなっている。その後に

ついては、川島先生と復帰の目途を協議し、対応

したい。

いずれにしても、村民のみなさんに迷惑をかけないような体制を取っていく。

【議員提案】 提出者 竹内典和 議員 他4名

ロシアによるウクライナへの侵略に対して抗議する決議(案)

2月24日、ロシアは国際社会の度重なる警告を無視しウクライナへ侵攻した。

この行為は国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、国際秩序の根幹を搖るがす暴挙である。

このように、力を背景とした一方的な現状変更をしようとする軍事侵攻は、明白な国際法違反であり断じて容認することができない。さらに、ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ、現地在留邦人は緊迫した状況の中、安否確認の対応に追われるなど厳しい状況に置かれている。

よって、本議会においては、国際秩序への挑戦ともいえる今回のロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、即時攻撃を停止し完全撤退を求めるものである。
また、政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携し、毅然たる態度でロシアに対して迅速かつ厳格な制裁措置をとるよう強く要請する。
以上、決議する。

令和4年3月10日

佐井村議会

**【結果】
全会一致で可決しました。**

【賛成討論】

川畠議員

今回のロシアによるウクライナへの侵攻は、平和を願う国際社会においての脅威であり、また、国、我々国民にとつても脅威であります。これに対し、毅然とした態度が必要であると考え、賛成します。



竹内典和 議員

樋口村長、今季限りでの引退

**2期8年の行政運営を総括して思うことは
村長―村民の評価はこれから、自身としては概ねやり遂げた**

だ8年だった。

アイデアと決断力でこの2期8年、村の将来に向けた行政運営をしてきたが、その総括と村長の思いは。

約束した政策は概ね達成できた

村長

平成26年4月の村長選挙において、3つの基本柱に、5項目の政策姿勢、7分野の基本政策を掲げた。

「これから村づくりは、一人ひとりの人間がお互いに人として尊重され、人の息吹や温もりが感じられる地域を目指していく」という理念のもと、「小さくともキラリと光る村」の実現に向け歩ん



約430名が参加し盛大に行なわれた（令和元年11月）



平成31年4月に開院した「さいクリニック」

また、積極的な政策展開を図る中でも、財政の健全化に取り組んできた。

不測の事態発生にも一定程度耐えうる財務体質を確立できた。

外科医の招へい。そして、日本で最も美しい佐井村づくりビジョンは非常に心に残る事業だった。

これまで実施してきた政策は未来に対する投資でもあり、最終的には村民や後世の方が評価する

やり残したこと

竹内議員

やり残したこと、新村長に引き継いで欲しいこ

ものであるが、自身としては概ねやり遂げたと思

っている。

漁業の協業化、漁師縁組事業、三上剛太郎生誕150年イベント、アルサス周辺賑わい創出事業、無医村解消に向けた整形外科医の招へい。そして、日本で最も美しい佐井村づくりビジョンは非常に心に残る事業だった。

3名が研修課程を終え、漁師としての一歩を踏み出した
(令和4年3月 佐井村漁師縁組事業卒業式)

一部の政策は実現できなかつた

村長

7つの基本政策の一つ

である、「新たな産業の誘致を積極的に進める」の一部はやり遂げることができなかつた。

新村長に引き継いでいただきたい事業は、日本で最も美しい佐井村づくり事業と旧福浦小中学校の利活用事業である。

3月定例会

竹内議員 村長が手掛けってきた政策の中に、道半ばの大きな事業も数多くある。特に、①日本で最も美しい村構想、②佐井漁港内の養殖事業、③牛滝小中学校の再開、④旧福浦小中学校利活用問題についてはどうに考えておられるか。

失敗を恐れず挑戦してほしい

村長

小中学校利活用問題についてはどのように考えておられるか。

村づくりの姿であり、佐井村むらづくり基本条例の理念に合致するものである。

このような取り組みの積み重ねが小さい自治体

①美しい村連合の活動は、単に、地域をきれいにするということではなく、

②佐井漁港整備事業は、漁業と観光の振興、民間企業の参入を呼び込み、

③牛滝小中学校の再開には、現在佐井小学

校に就学している児童の家庭から、地元である牛滝地区に戻り、子育てと仕事を両立したいとの要望があり、当初予定してい



プロジェクトチームが地区会などと実施した海岸清掃

た時期を前倒しし、令和5年度に再開するため準備を決めたところである。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていってほしいと願つている。

漁港整備などのハード面は県営事業として、それを活用した体験型観光や養殖事業は、村と漁協が行なうこととなつてい

る。

漁港整備などのハード面は県営事業として、それを活用した体験型観光や養殖事業は、村と漁協が行なうこととなつてい

る。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつ

てほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつ

てほしいと願つている。



地区全体の願いでもある牛滝小中学校の再開

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

牛滝地区においては、地区一丸となつて牛滝小中学校を少しでも長く存続できるよう育てていつてほしいと願つている。

福浦という地の利を生かし、福浦にしかない強みを生かし、あの施設をどう育てていけばよいのか、そのためには何をするべきかという前向きな議論を大いに積み重ね、実際に向け取り組んでほしい。



福浦小中学校は平成31年3月に閉校し、3年が経過した

連合審査会（常任委員会）活動報告 災害から村民を守るために迅速な対応を

総務文教常任委員会 委員長 山口捷夫

連合審査会（常任委員会）は、昨年15回開催した。総務文教常任委員会及び産業建設常任委員会の開催3回を含めると計18回開催したほか、指定管理施設の視察を行ない、付託事件の審査や村政一般に関する事務の調査など、年間を通して活動してきた。

今年度から本格的にスタートした「なりわいとにぎわいの漁港整備事業」は、当村の観光振興並びに水産業の確立に向けた重要な事業である。県当局及び村内の関係事業者等と連携を密にし、本事業による佐井村の賑わい創出によって、村内外から多くの人達が集う、多様な事業の展開を期待する。

昨年8月に県内を襲つた大雨により、むつ市赤川地区及び風間浦村下風呂地区において、河川の氾濫や土砂崩れなどが発生し、国道279号が通

行止めとなつたほか、村内でも県道川内佐井線が一時的に通行止めとなり、北通り地区が一時孤立状態になる被害が発生した。

村民の生命・財産を災害から守るため、危機管理を徹底し、新たに作成したハザードマップ並びに佐井村地域防災計画に基づき迅速に対応するようお願いしたい。

佐井村過疎地域持続的発展計画の策定において、令和3年度から令和7年までの状況を調査していく。

総務文教常任委員会と産業建設常任委員会に代わり新たに設置される総務産業常任委員会においては、村内の教育及び観光関係、建設事業等に関することなど、広く地元の状況を調査していく。



大雨で被災した風間浦村には多くの佐井村消防団員が出動した
(令和3年8月14日～16日)

～議会の傍聴についてのお願い～

第2回議会定例会は、6月中旬開催の予定です。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴する場合は次の点について、皆様のご理解とご協力ををお願いいたします。

1. マスクの着用をお願いします。
2. アルコール消毒液を準備していますので、手指を消毒してからご入場ください。
3. 風邪のような症状がある方は傍聴をご遠慮ください。

※傍聴席は間隔を確保するため、通常より少ない席数となります。

議会改革特別委員会活動報告 災害時における議員の行動計画を策定

委員長 坂井文明

当特別委員会は、平成23年3月の東日本大震災を契機に、自治体にも広がりを見せてる業務継続計画について協議しました。

当村では、東日本大震災での経験を活かし策定した佐井村地域防災計画に基づき災害が発生した際の村の行なう対応を定めているが、議会及び議員が行なう対応については定めていない状況だった。

また、令和2年3月に世界保健機構がパンデミックを宣言し、今もなお猛威をふるう新型コロナウイルス感染症により、大規模災害に匹敵するほどの脅威が発生していることから、これまでの災害に加え、感染症等の発



村長へ、防災計画へ感染症対策を追加するよう提言を行ないました（令和3年1月18日）

生においても迅速に対応し、継続的にこれを担い、べきかについて議論をし、その責務を果たすため必要な組織体制や議会並びに議員等の役割を定める「佐井村議会業務継続計画」について協議を行なった。

本特別委員会では、議会機能の充実強化を図ることのほか、議員のなり手不足を解消し、若い人も女性も立候補できるような魅力ある議会にする

ためにはどのようにするべきかについて議論をし、これまでの活動等を検証するとともに、今後も意見を出し合い継続して議論していく。

当委員会は、令和3年中に委員会を6回開催し、電源開発株式会社から新規制基準適合性審査の対応状況、工事の概要等の説明を受けたほか、大間原発三ヶ町村協議会の案件等について協議をした。

大間原子力発電所の動向については、これまでに審査会合が51回、現地調査を1回開催しており、一日も早い工事の再開が待たれるところである。

大間原子力発電所の稼動が遅れることにより、地元経済活動への影響が深刻となることが予想される。適合性審査においては論点が絞られていることだが、2022年後半の安全対策工事の開始に向けて、これまで以上にスピード感をもつて対応していただきたい。

三ヶ町村協議会の活動としては、昨年10月に三ヶ町村協議会の活動道路の整備促進について要望活動を行なった。

8月9日に発生した風間浦村集中豪雨災害においては、主要道路である国道279号が通行止めとなる事態が発生してい

大間原子力発電所対策特別委員会活動報告 防災避難道路の早期整備を要望

委員長 竹内典和

当委員会としては、大間原発を巡る動向について常に注視し、活動を活性化させていきたい。当委員会としては、大間原発の稼動が遅れることにより、地元経済活動への影響が深刻となることが予想される。適合性審査においては論点が絞られていることだが、2022年後半の安全対策工事の開始に向けて、これまで以上にスピード感をもつて対応していただきたい。



青森県知事への要望活動（令和3年10月27日）

3月定例会 現場視察

3月9日（水）、令和3年度に改修等を終えた2施設および令和4年度に設計及び改修工事を予定している2施設を視察しました。



担当課長からの説明



校舎跡地は碎石が敷かれている

- 旧磯谷小中学校跡地
- ・令和3年度に校舎の解体工事を実施した。
- ・工期… 令和3年6月11日～令和4年3月31日



地区との協議で玄関はカーペットからすのこへ



館内の照明の一部をLEDに交換

- 歌舞伎の館
- ・令和3年度に改修工事を実施した。
- ・工期… 令和3年6月1日～令和3年12月28日



改修予定4棟のうちの1棟



ほとんどの住宅が築年数30年を超える

- 牛滝教員住宅
- ・令和4年度は、教員住宅8棟のうち4棟の設計及び改修工事を行なう。



小学校令和5年度、中学校令和7年度に再開予定



体育館の改修について意見交換

- 牛滝小中学校
- ・令和5年度再開に向け、令和4年度は、校舎および体育館の改修工事基本調査設計を行なう。

議会のうごき（令和4年1月～3月）

1月

- 7日 佐井村消防団安全祈願祭（議長）
佐井村消防団出初式
- 12日 議会広報編集委員会
- 18日 議会広報編集委員会
- 21日 佐井村表彰式典
- 24日 連合審査会
- 28日 例月出納検査（議選監査委員）

3月

- 2日 連合審査会
- 7日 令和4年第1回佐井村議会定例会（開会）
- 8日 予算・条例等審査特別委員会（各課審査）
- 9日 予算・条例等審査特別委員会（各課審査）
- 10日 予算・条例等審査特別委員会（総括審査）
令和4年第1回佐井村議会定例会（閉会）
- 24日 下北地域広域行政事務組合議会定例会
(議選議員)

2月

- 22日 連合審査会
- 24日 例月出納検査（議選監査委員）
- 25日 下北郡町村議会議長会定期総会（議長）
- 28日 議会運営委員会

議会からのおしらせ

議員辞職を許可

太田直樹議員から、一身上の都合により1月26日付で辞職願が提出され、同日付で議長が許可しました。

太田直樹議員の辞職に伴い、欠員となつた議会運営委員に坂井文明議員、議会広報編集委員会副委員長に川畠勲夫議員、委員に宮川尚議員がそれぞれ3月定例会において互選されました。

常任委員会の委員長・副委員長の互選

3月10日より、新たに2つから1つの常任委員会となつた、「総務産業常任委員会」の委員長に山口捷夫議員、副委員長に坂井文明議員がそれぞれ3月定例会において互選されました。

各種団体の議長への案内について

各種団体が議長の行事への参加・出席を求める場合、「案内は議長の自宅ではなく、議会事務局（佐井村役場内）へお届けください。議長のスケジュール調整、出張や村内行事などへの出欠報告は、議会事務局が行ないます。
また、議長のこれらの活動は「諸般の報告」として定例会で報告するになっていますので、みんなの「理解」「協力を願いします。

昭和・平成・令和をつなぐ



加藤 姉子さん (78歳) 川目

「川目地区での暮らしが好きです。」

姉子さんは、古佐井地区出身、7人姉弟の3番目に生まれました。

友人の紹介で出会った良悦さんと昭和42年に結婚、今年で55年になります。

川目婦人消防協力隊や村の保健協力員を長年務め、子育てしながらの活動はいろいろ大変なこともありました。現在は、家事を一通り終えてから午前9時頃に畑に行きます。昼食のため自宅に戻ります。また午後から畑に行きます。畑では、数えるだけでも年間

で20種類以上の作物を育てています。

毎年悩まされているのがサルによる農作物被害です。サルは電気柵を越えて入ってきたり、作物を上手に取つていったり、畑に行っていますが、サルの追い上げの花火が鳴れば、何をおいても畑に行きます。

昔、とうもろこしの収穫がそろそろという時、2日間自宅を離れる時があり、帰つてきて畑に行くと、300本のとうもろこしが一つ残らず全部食べられ、とても腹が立つことがあります。生きがいは畑だけではありません。8人のお孫さんです。「自分をとても慕つてくれてかわいい、みんな素直な子に

娣子さんの父親がよく、「旅から来た人にお茶の一杯でもあげれば、もらつた人は気持ちいいように。まるつきり知らない人でも一声かけるんだよ。」とよく話しており、その言葉が今も耳から離れないそうです。「人をもてなさずにはいられない。畑で育てたものをあげたり、畑作業の休憩の時、周りの人にも飲み物を提供したり。声を掛けて楽しく話をしたり、相手が喜んでいる様子を見ていると自分もうれしくなる」と言います。

す。サルは食べ頃をわかっていて、明日収穫するとなれば前の日に取つていく、サルを追いかねることには作物が食べられてしまう。毎年被害はあります。が、畑と自宅を往復することで運動にもなり、何より畑は生きがいでもあります。やめるつもりはないそうです。

娣子さんの父親がよく、「旅から来た人にお茶の一杯でもあげれば、もらつた人は気持ちいいように。まるつきり知らない人でも一声かけるんだよ。」とよく話しており、その言葉が今も耳から離れないそうです。「人をもてなさずにはいられない。畑で育てたものをあげたり、畑作業の休憩の時、周りの人にも飲み物を提供したり。声を掛けて楽しく話をしたり、相手が喜んでいる様子を見ていると自分もうれしくなる」と言います。

最後に、村や議会に対しても動ける人は少ない。役場に書類の提出をするにもすぐには行けない人が多いので、地区にいて、さまざまな行政手続きができるような出張サービスがあれば助かります。」と話してくれました。

新縁が輝き、日に日にその濃さが増していく季節となりました。

早いもので新年度から1か月が過ぎましたが、議会は、村長選挙と併せて行なわれた議会議員補欠選挙により、新たな議員が加わることを期待します。

そして、さらに村民のみなさんの議会への関心が高まるよう、行政、議会の取り組みをわかりやすく伝えてできる議会だよりの充実を図つてまいりたいと思います。

(山口)

議会報編集委員会

委員長	根岸 浩則
副委員長	川畠 熊夫
委員	宮川 尚尚
委員	坂井 捷夫
委員	文明 文明

編集後記